

# FP9300内でのトランスペアレントモードでのASAの導入

## 内容

---

### [はじめに](#)

#### [前提条件](#)

#### [要件](#)

#### [使用するコンポーネント](#)

### [設定](#)

### [確認](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、FP9300でASAトランスペアレントを導入する方法について説明します。デフォルトでは、ASAがFP9300内に導入されると、ファイアウォールモードはルータになり、FTDテンプレート用に用意されているトランスペアレントモードを選択するオプションはありません。

これに対し、トランスペアレントファイアウォールは、「bump-in-the-wire」または「ステルスファイアウォール」のように動作するレイヤ2ファイアウォールであり、接続されたデバイスへのルータホップとしては認識されません。ただし、他のファイアウォールと同様に、インターフェイス間のアクセスコントロールが制御され、通常ファイアウォールチェックがすべて実行されます。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ASAトランスペアレントモード
- FP9300アーキテクチャ

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- FXOSバージョン [2.3.1.73](#) を実行する FPR9K-SM-44
- FP9300バージョン [9.6.1](#) 用の ASA ソフトウェア

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始していま

す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 設定

ASAを展開する場合、[FTD](#)を展開するときに、ファイアウォールモードをそのまま選択するオプションはありません。

# Cisco: Adaptive Security Appliance - Configuration



## General Information Settings

### Security Module(SM) Selection:

SM 1 - Ok

SM 2 - Degraded

SM 3 - Ok

### Interface Information

Management Interface:

#### DEFAULT

Address Type:

#### IPv4

Management IP:

Network Mask:

Network Gateway:

OK

Cancel

ASAを導入すると、ルーテッドモードで事前設定されます。

```
asa# show firewall
Firewall mode: Router
```

```
asa# show mode
Security context mode: single
```

Chassis Managerからファイアウォールモードを設定するオプションがないため、ASA CLIから実行する必要があります。

```
asa(config)# firewall transparent
```

```
asa(config)# show firewall
Firewall mode: Transparent
```

```
asa(config)# wr mem
Building configuration...
Cryptochecksum: 746a107e aa0959e6 0f374a5f a004e35e
2070 bytes copied in 0.70 secs
[OK]
```

設定を保存した後は、トランスペアレントモードがデバイスにすでに設定されていても、ASAアプライアンスで実行されているため、リロードが必要になります。デバイスが起動すると、そのデバイスはすでにトランスペアレントモードでセットアップされ、すべての設定は予期したとおりにクリアされていますが、Chassis Managerには、導入された元の設定がまだ表示されています。

```
asa# show firewall
Firewall mode: Transparent
```

```
asa# show version | in up
Config file at boot was "startup-config"
asa up 1 min 30 secs
```

Chassis Managerでは、管理ポートの設定も削除されたことが確認できます。



The screenshot shows the Chassis Manager interface for an ASA device. The device is in Standalone mode with Logical Device Status: ok. The configuration table is as follows:

Security Module	Application	Version	Management IP	Gateway	Management Port
Security Module 1	ASA	9.6.1	10.1.1.2	10.1.1.1	Ethernet1/1

Additional details shown in the interface:

- Ports:** Data Interfaces: Ethernet1/2 Ethernet1/3
- Attributes:** Cluster Operational Status: not-applicable, Management URL: https://0.0.0.0/, Management IP: 0.0.0.0

再導入は、導入の開始時と同様に、管理インターフェイス設定とクラスター設定（該当する場合）で、Chassis Managerからデバイスに実行する必要があります。シャーシマネージャがデバイスを再検出します。最初の5分間は、図に示すように、デバイスのステータスが「Security module not responding」と表示されます。

Security Module	Application	Version	Management IP	Gateway	Management Port	Status
Security Module 1	ASA	9.6.1	10.1.1.3	10.1.1.1	Ethernet1/1	Security module not responding
Ports:		Attributes:				
Data Interfaces:	Ethernet1/2 Ethernet1/3	Cluster Operational Status : not-applicable				
		Management URL : https://0.0.0.0/				
		Management IP : 0.0.0.0				

数分後に、デバイスが再起動されます。

Security Module	Application	Version	Management IP	Gateway	Management Port	Status
Security Module 1	ASA	9.6.1	10.1.1.3	10.1.1.1	Ethernet1/1	starting
Ports:		Attributes:				
Data Interfaces:	Ethernet1/2 Ethernet1/3	Cluster Operational Status : not-applicable				
		Management URL : https://0.0.0.0/				
		Management IP : 0.0.0.0				

## 確認

ASAがオンラインに戻ったら、CLIから次のコマンドを使用して、デバイスがトランスペアレントモードであり、管理IPアドレスが設定されていることを確認できます。

```
asa# show firewall
Firewall mode: Transparent
```

```
asa# show ip
Management-only Interface: Ethernet1/1
System IP Address:
ip address 10.1.1.3 255.255.255.0
Current IP Address:
ip address 10.1.1.3 255.255.255.0
```

```
asa# show nameif
Interface      Name          Security
Ethernet1/1    management    0
```

Chassis ManagerからASAが展開されている場合にファイアウォールモードを選択する機能は、不具合[CSCvc13164](#)および[CSCvd91791](#)から要求されています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。